



2023年4月14日

各位

会社名 株式会社ヤマザワ  
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭  
(コード番号 9993 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理本部長 工藤 和久  
(TEL. 023-631-2211)

## 特別損失の計上及び業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月期連結決算において、固定資産の減損処理により下記のとおり特別損失を計上するとともに、2022年4月12日に公表いたしました2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の連結業績予想と本日公表の実績に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する店舗等の一部の固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、その認識・測定を行った結果、2023年2月期連結決算において、固定資産の減損損失3億2百万円を特別損失として計上することといたしました。

#### 2. 2023年2月期 通期連結業績予想と実績の差異(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 100,000	百万円 950	百万円 1,000	百万円 600	円 銭 55.03
実績(B)	99,457	710	928	112	10.34
増減額(B-A)	△543	△240	△72	△488	
増減率(%)	△0.5	△25.3	△7.2	△81.3	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	110,673	1,100	1,161	368	33.76

※2022年2月期の前期実績の数値は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)等未適用の金額となっております。

#### 3. 差異の理由

当連結会計年度につきましては仕入価格や、物流コスト、エネルギーコスト等の予想を上回る上昇影響等により、営業利益及び経常利益ともに当初予想を下回る結果となりました。

また、上記「1. 特別損失の計上」の通り、今回特別損失を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を下回る結果となりました。

以上